



まるかじりツアー ～公式雪合戦編～

1月4日(土) ～ 1月6日(月)

IN 兵庫県立兎和野高原野外教育センター

	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発	雪遊び・コート作り	ルール説明・作戦会議
2日目	雪合戦 ～序章～	雪合戦 ～最終章～	キャンドルファイヤー
3日目	清掃・そり滑り	施設を出発・解散	

一日目： 尼崎に全員集合し、いってきます！と元気よく挨拶をした後、早速バスに乗り込みました。バスの中ではそれぞれのグループが名前を覚え合ったり、ゲームをしたりととても賑やかでした。施設に到着し、お昼ご飯を食べ、着替えを済まし雪合戦のフィールドへ向かいました。まずは雪合戦に向けての地固めです。フカフカの雪に足をとられながらも、雪を体いっぱい感じていました。雪が固まってきたところで、試合で使う「シェルター（雪の壁）」を作りました。グループ内で雪を持ってくる人、壁を固める人など担当を分け、大きな壁から横幅の広い壁など個性あふれる壁ができあがりしました。夕食を済ませた後はルール説明を行い、グループごとに部屋で作戦会議を行いました。各グループ頭を突き合わせて真剣に話し合い、時には笑い声も漏れ、雪合戦本番に向けての「勝ちたい！」という気持ちがそれぞれのグループから感じられる有意義な時間になっていました。



二日目： 朝食を済ませ、シェルター作りの続きと、雪玉作りを行いました。そして、待ちに待った雪合戦大会のスタート！一試合目からグループでの声掛けも多く、攻め合いになりとてもいい試合のスタートとなりました。ルール違反をすると、グループ全員がアウトになってしまうので、お互いに「あかんで！危ない！」と声を掛け合い、どの試合も白熱していました。そして試合の合間の作戦タイムでは、作戦の見直しや立ち位置の入れ替えなど、話し合いが絶えませんでした。昼食後、中間結果を発表し、1位のグループから順番にあみだくじを引いて、そり、ペットボトル、かご、お楽しみ券、それぞれアイテムをゲットしました。早速外に出て、アイテムを使っての雪合戦、ルールを少し変えた雪合戦、また、リーダーVS勝利グループという面白い試合も加えながら最後まで雪合戦を楽しみました。夜はキャンドルファイヤーにてダンスやゲームを全力で楽しみ、最後の夜を過ごしました。



三日目： 朝食を済ませた後は、お世話になった施設に感謝の気持ちを込めて掃除を行いました。退所時間が迫っている中、グループで協力しながらテキパキと行動ができていました。みんなで作ったシェルターを壊し、少しの時間ではありましたが、そり滑りをして最後の雪遊びを楽しみました。バスに乗る前に、雪合戦の順位発表！！なんと1位と2位の差は0.5点差で、とても悔しそうでしたが、子ども達が「絶対次は優勝してリーダーと勝負する！」と今から闘志を燃やしておられました。そして施設に向かってお礼をした後、バスに乗り込み尼崎へと向かいました。バスの中はみんな疲れて寝ているかなと思いきや、最後までお友達との会話の音が絶えませんでした。



このキャンプは“雪合戦”が中心のキャンプですが、ただ雪合戦をするのではなく、雪合戦というウィンタースポーツを通して「グループ」「仲間」というものを意識して欲しいと思いました。作戦会議の機会を何度も取り、円になって何度も話し合い、お互いの勝ちたい！という思いをぶつけ合いました。作戦通りに声を掛け合うグループも、作戦通りにはうまくいかなかったグループも、仲間で協力し合う楽しさを感じることができたのではないのでしょうか。また、このキャンプを通して子どもたちの「成長」を見受けました。1日目にはなかった返事も、3日目には自然と子どもたちの大きな「はい！」という返事が聞こえるようになりました。2日、3日と日が経つにつれて、我々が声をかけることなく子ども達自身がお互いに声を掛け合う姿が増えていました。雪合戦という活動面だけでなく、生活面でも“グループ”意識を感じとりました。雪合戦は弱くても仲間と一緒に戦うから楽しい。同じように、部屋の掃除やシーツをたたむことも一人でできなければ、面白くもない。でも、仲間がいれば自然と掃除も楽しくなる！子どもたちはキャンプを通して、「仲間」っていいな、と体で感じていました。キャンプでの経験を活かし、今後も仲間と同じ1つの目標に向かって協力し合うことを忘れないでほしいと強く思います。 (三好 裕佳)